

一誌一句(受贈誌5・6月号他より)

米田透抄出

十二ほど鐘の音ゆるり牡丹観る

(樹)

丹羽真一

輪唱の声が声追ふ若葉風

(郭公)

井上康明

遊船の水脈に揺れたるスカイツリー

(春嶺)

古澤宜友

古楽器の響きは素朴春北斗

(沖)

能村研三

いぢめつ子一番に泣く卒業歌

(和)

名和永山

湯どころで折り返すバス山笑ふ

(夏爐)

古田紀一

すんなりと蛇を受入れ沼青し

(青山)

しなだしん

老僧の十念に花舞ひ上がり

(鹿火屋)

原朝子

歳月は巨人の歩幅年歩む

(宇宙)

島村正

搾乳のほのかな湯気や朝桜

(たかな)

吉田千嘉子